

街なみ環境整備事業／鳥取県倉吉市

くら よし うつ ぶき

倉吉打吹地区街なみ環境整備事業

当地区は、鳥取県中部地域の政治、経済、交通の中心地であった。特に江戸時代中期から大正時代に商業活動が活発化し商人が屋敷(町家)を構え現在のまちなみが形成された。これらの町家は、切妻平入りのつし2階建の建物を主流にし、窓には格子を設け、町家の裏側は玉川に面して白壁の土蔵が立ち並び、玉川に架かる石橋とともに独特の景観を醸しだしています。しかし、近年の商業の郊外化に伴い、地区の商業の停滞、人口の空洞化、高齢化が進み、歴史あるまちなみも空き家、空地が年々と増加し、現代風の建物、高度成長期に設置された看板等が良好な景観を阻害しており、街なみ環境整備事業を実施し住環境整備の改善を行います。

■計画概要

事業内容: 地区面積 31.7ha

住宅修景

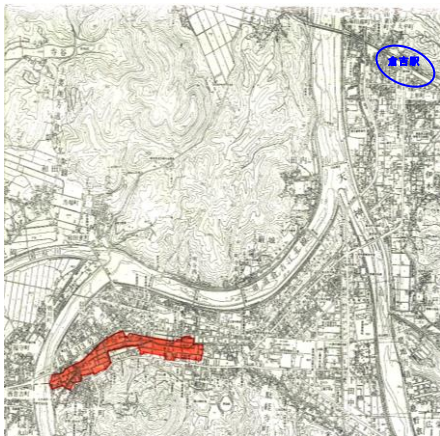
道路美装化

小公園

事業期間: 平成18年度～平成32年度

事業主体: 鳥取県倉吉市

位置図



整備のイメージ

